

此のほか暇ある毎に大英博物館に出かけて珍籍をあさり候と東洋學院に週に二度宛通ひてアラビア語の講義を聽き申し候。博物館の圖書館にて原文の記入されたる華夷譯語の板本を見出し、早速寫眞致し度と相考候へ共これには大した費用を要し候につき、さしむき高昌館、回回館の分の筆寫に従ひ既に高昌の方は終り申し候。序も跋も無之候へ共、稻葉君所藏の同書とは甚だ異り、音譯の上より見るもたしかに同書より古き出板に有之候。一例を申せば數詞の如きは稻葉君の本には現代の形が記され居候へ共此の本には古き形式をそのまま記し居り申し候。高昌、回回、西番、百夷、八百、緬甸の六卷各百二十枚許りに候へば只今當地にて寫眞致候ては莫大的の費用を要し候次第或は此の本はかねて承居候北京圖書館藏のものと同一本かとも考候につき、他日その方にて撮影致し候方費用の上より見て利益かと存じ候。爲念見本として各冊數葉づゝを寫眞致し申し候、體裁は每頁四語、漢語の一方に對應の夷語を原字にて記し、他的一方には其の漢字音譯を示し居り候。五體清文鑑も奉天のものと同一のもの有之、西域同文志も所藏致し居り候。流石に英人の誇りと致候博物館丈けに何れの方面にも蒐集行きわたり居り候には全く驚嘆の外無之候。

東洋語學校にては只今亞刺比亞人の教師より亞刺比亞語を習ひ居り候。暫の間に此の國語に通じ候ことは、もとより望む可らざる處に候へ共、せめて此の面倒なる國語の一通の發音と文法の大體とでも修得して自修に便じたしとの存念に有之候。目下上下の兩級に十人程の聽講者これあり三人の女性も交り候。殊に面白きはその中の一人の六十許りの老婆なることにて如何なる必要ありてかは存じ申さず候へ共、此の老女、外の若き人達と伍して一生懸命なるは驚嘆の外無之候。(中略)